

特集《意見交換会》

— 若い世代との意見交換会 —



柏崎市議会だより

ギカイの

とびら

No.203

令和8(2026)年2月5日 発行

今回の表紙

若い世代との意見交換会

参加いただいた学生の皆さま、ありがとうございました。

(場所 新潟工科大学・新潟産業大学)

もくじ

■ 特集《意見交換会》	P 2・3
■ 委員会審査報告	P 4・5
■ 議案審査結果、賛否一覧	P 6・7
■ 先進地を視察しました	P 8～10
■ 12月定例会議一般質問	P 11～14
■ 政務活動を行いました	P 15～17
■ ギカイのうごき	P 18
■ 原子力発電所に関する議事録公開	P 19
■ 2月定例会議の予定 ほか	P 20





若い世代との意見交換会

5月に実施した市内2大学の学生との情報交換会の声を生かし、「若者の地元定着に向けて」をテーマに、10月15日、22日には新潟工科大学学生と、11月19日、28日には新潟産業大学学生と、市議会議員との意見交換会を開催しました。



意見交換会

11月19日開催



意見交換の前に、
市議会の役割を
説明しました。



11月28日開催



グループのまとめは学生の皆さまから
発表していただきました



令和 7 (2025) 年度市議会意見交換会 意見取りまとめ報告 [抜粋]



- 職場環境の良さ(人間関係など)や福利厚生がしっかりしている職場
- 大学で学んでいる専門性を生かした職場

就職支援の際の
参考にしていきたい。

雇用環境の充実と
就労支援



学生の求める働く場所とは

- 映画館、飲食店、娯楽施設など若者が遊べる、集まれる、安心できる場所がほしい。
- 駅周辺におけるバスや電車の長い待ち時間を過ごす居場所がほしい。

関係機関と連携しながら、
居場所確保に向けた検討
を始めるよう努めていた
だきたい。

若者や移住者に選ばれる
まちづくりの推進



柏崎に求めるものとは

- 地域コミュニティの存在そのものを知る機会が少なく、学生には伝わりづらい。
- 各コミセンの掲示板画像をSNSに載せることや、地域活動のマップなど様々な世代が情報を交換できる環境づくりが必要だと思う。

周知啓発に努めて
いただきたい。
意見として承る。

市民力・地域力が
発揮できる環境の充実



コミュニティに求めるものとは

取りまとめた意見は市当局、議会内で共有し、
柏崎市第六次総合計画（6ページ参照）の施策に
反映させられるよう働きかけていきます。



大学生アンケートより 意見・感想

- 自分の意見の詳細を説明しているときなど真剣に聞いてくれて、お互いの意見を交換し合うことができとても有意義だった。
- 議員という立場の方と意見交換をすることで、本当に柏崎を変えたい、良くしていきたいという気持ちが伝わってきました。
- 意見が言いやすい形式で、とても楽しみながら参加することができました。
- 今回意見交換をさせていただいて、柏崎の魅力と現状の課題を改めて考えることができ、柏崎への関心がより深まる時間になりました。
- あまりうまくまとめられなかったが、私たちの考えを伝えられた。今後もさまざまな人たちとこのような場を設けてもらいたい。

いただいたご意見はホームページで公開し、今後の議会活動に生かしていきます。

意見交換会に参加いただきました学生の皆さま、貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。

令和7(2025)年12月定例会議常任委員会での審査について 報告します

総務常任委員会

■委員長 近藤由香里 ■副委員長 星野幸彦
■委員 布施 学・五位野和夫・上森 茜・春川敏浩・真貝維義

5件の議案（うち請願1件）を審査しました。

- ・火災予防条例の一部を改正する条例

概要

国の条例改正を受け、林野火災予防の実効性を高めるための所要の改正。

主な質疑

- Q 柏崎消防本部管内の林野火災の発生状況とその原因は。
- A 令和6年に1件、7年に1件発生しており、

どちらもたき火が原因である。

- Q 条例改正により具体的にどのような対応を行うのか。
- A 林野火災の未然防止のために注意報や警報を発令する。発令の際は消防車による巡回広報や防災行政無線による注意喚起を行う。



文教厚生常任委員会

■委員長 山本博文 ■副委員長 池野里美
■委員 三嶋崇史・田邊優香・持田繁義・重野正毅・相澤宗一

4件の議案を審査しました。質疑はありませんでした。

- ・市立保育所条例の一部を改正する条例

概要

米山保育園の入園児童数が減少し、集団活動等の保育機能維持が困難な現状などから、令和7(2025)年度をもって閉園するための改正。

- ・公の施設の指定管理者の指定について（総合福祉センター）
- ・公の施設の指定管理者の指定について（元気館障害者デイサービスセンター）

- ・公の施設の指定管理者の指定について（陸上競技場ほか13施設）

概要

総合福祉センター、元気館障害者デイサービスセンター、陸上競技場ほか13施設の令和8(2026)年4月から5年間の指定管理者に、それぞれ柏崎市社会福祉協議会、柏崎刈羽ミニコロニー、かしわざき振興財団を指定する。

産業建設常任委員会

■委員長 三宮直人 ■副委員長 西川弘美
■委員 山崎智仁・佐藤正典・佐藤和典・柄沢 均・星野正仁

4件の議案を審査しました。質疑はありませんでした。

- ・公の施設の指定管理者の指定について（コレクション展示館第1展示館）
- ・公の施設の指定管理者の指定について（コレクション展示館第2展示館）
- ・公の施設の指定管理者の指定について（コレクション展示館第3展示館）
- ・公の施設の指定管理者の指定について（モーリエ駐車場）

概要

コレクション展示館第1展示館、第2展示館、第3展示館の令和8(2026)年4月から2年間の指定管理者に、それぞれかしわざき振興財団、黒船館、同一庵藍民芸館を指定し、モーリエ駐車場の令和8(2026)年4月から5年間の指定管理者に、柏崎商工会議所を指定する。

YouTube
録画映像

審査結果

予算決算常任委員会

委員長 佐藤正典 ■副委員長 三嶋 崇史

※分科会長・副分科会長・委員は、各常任委員会の委員長・副委員長・委員と同じ。

令和7(2025)年度一般会計補正予算(第12号)など、14件の議案について審査しました。

総務分科会

令和7(2025)年度一般会計補正予算(第12号)

・地球温暖化対策普及啓発事業(62万4千円)

概要

市役所駐車場の電気自動車急速充電器の利用が増えたことによる光熱費の増額。

主な質疑

- Q 公平性の観点から、市の電気自動車急速充電器を無料利用とすることへの見解を伺う。

- A 急速充電器の無料利用は、脱炭素化につながる電気自動車の普及促進に効果があると考ええる。現在の急速充電器の仕様では有料に変更できないが、公平性の観点も重要であり、設備更新時に電気自動車の普及状況などを踏まえ、無料利用を継続するか検討したい。

文教厚生分科会

令和7(2025)年度一般会計補正予算(第12号)

・扶助費について(2億5714万1000円)

概要

障害福祉サービス等の報酬改定の影響と利用者・利用時間の増加等により、今後不足が見込まれる経費を追加措置するための増額。

主な質疑

- Q 当初予算で予測可能では。
- A 処遇改善の時期は事業者によって異なるため、当初予算での予測は難しいのが現状で

ある。

- Q 増額となった背景や経緯は。
- A 利用者の増加、処遇改善による加算、障害支援区分の重度化などが主な理由である。
- Q 就労継続支援A型の増額幅が大きい理由は。
- A 運営状況等の評価がランクアップし、基本報酬が増額したことに加え、利用者、利用日数が増えたためである。

産業建設分科会

令和7(2025)年度一般会計補正予算(第12号)

・農地中間管理事業(農林水産課) (1263万8000円)

概要

集積・集約の協議がまとまり、新たに久之木および西山町和田の2地域に地域集積協力金の交付に必要な経費を追加措置するための増額。

主な質疑

- Q 内容の詳細、交付金の活用方法は。
- A 農地バンクを活用した農地集積の面積変更による増額であり、共同使用のポンプ修繕などに活用する。
- Q 今後の見通しは。
- A 作業効率化につながるもので、農地の集約化に、より注力する必要があると考えている。

こんなことが 決まりました

12月定例会議 議案審議

Pick up

1

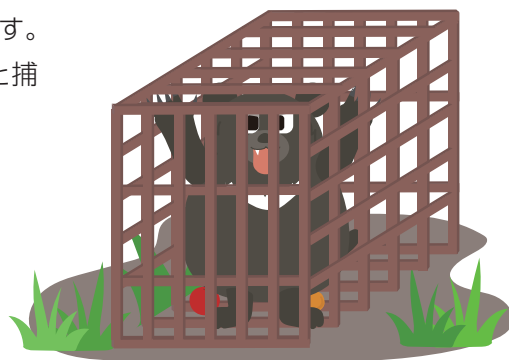
クマの捕獲に必要な箱わなを増やし、最新のICT機器も導入します

◎生活環境鳥獣対策事業

198万円

【令和7（2025）年度一般会計補正予算】

県の「アーバンベア捕獲緊急支援事業補助金」を活用し、クマの捕獲に必要な箱わなを増やします。また、センサーカメラを導入し、業務の効率化と捕獲対策を強化します。



Pick up

2

第六次総合計画基本構想・前期基本計画を可決しました

令和6年10月から令和7年3月にかけて3回市当局と意見交換を行い、各常任委員会で取りまとめた議会の意見を令和7年5月に市長へ提出しました。（※ギカイのとびら201号「ギカイのうごき」でも紹介させていただきました。）

12月19日に本会議場で集中審議を行い、12月22日の本会議において全会一致で可決しました。

議決した議案はコチラ



私たちは



賛成 × 反対 しました

議員の賛否状況



議員賛否一覧（12月定例会議の採決において賛否が分かれた議案など）

議決日	議案	布施学	山崎智仁	星野幸彦	佐藤正典	池野里美	三嶋崇史	近藤由香里	田邊優香	山本博文	西川弘美	持田繁義	五位野和夫	重野正毅	三宮直人	相澤宗一	佐藤和典	柄沢均	上森茜	阿部基	春川敏浩	星野正仁	真貝維義
12月22日	手数料条例の一部を改正する条例	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
12月22日	市立児童クラブ設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
12月22日	公民館条例の一部を改正する条例	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
12月22日	交流プラザ設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
12月22日	市立博物館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
12月22日	自転車等駐車場設置及び管理に関する条例及び自転車等放置防止に関する条例の一部を改正する条例	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○

○は賛成 ×は反対 欠は欠席 阿部 基議長は採決に加わりません。

■インターネット上の人権侵害事象への削除要請を新潟地方法務局に行いました

阿部議長は、12月23日に新潟地方法務局柏崎支局で、インターネット上に書き込まれている部落差別（同和問題）などの人権侵害事象に対し、必要な措置を講じよう新潟地方法務局長および新潟地方法務局柏崎支局長宛てに要望書を提出しました。

議会からの
お知らせ



要望書
(PDF)



左から新潟地方法務局柏崎支局長、阿部議長

先進地を 視察しました



議会運営委員会

■ 10月9日(木)～10日(金)



茨城県水戸市

学んできたこと

- ハラスメントの根絶に関する条例
- 議会基本条例の点検

議会運営委員会の活動



ここに注目！

茨城県水戸市

水戸市議会では、ハラスメント行為を絶対に許容しない強い意志を示すため、「根絶」という表現を使用した「ハラスメントの根絶に関する条例」を制定した。現時点で47種類のハラスメントがあり、年々増えているため、ハラスメントの定義は広く規定した。時代に即した人権の尊重やハラスメントの根絶に向けた強い決意を参考としたい。

東京都国立市

国立市議会基本条例は、ソーシャルインクルージョンの理念を議会活動の基本とし、本会議や委員会での手話通訳者の設置など、先進的な取り組みを行っていることを学んだ。また、住民福祉の増進を図ることを目的として、議会基本条例の検証がPDCAサイクル化されていることも参考としたい。

文教厚生常任委員会

■ 10月27日(月)～29日(水)



兵庫県明石市

学んできたこと

- 離婚等におけるこどもの養育支援
- 明石市の子ども施策5つの無料化
- 切れ目なく寄り添う子育て支援
- 教育日本一へ学力向上の取り組み

常任委員会の活動



ここに注目！

兵庫県明石市

離婚等におけるこどもの養育支援と子ども施策5つの無料化について、現状に合わせ子ども目線で支援内容を柔軟に変えている。12年連続で、出生率・子育て世代の転入者数が増加している明石市独自の支援策を学んだ。

大阪府大東市

「子育てするなら大都市より大東市」をキャッチコピーに、妊娠期から18歳までの切れ目のない寄り添い方の子育て支援に力を入れている。こども家庭センターは3課で連携し、窓口を一本化していること等を学んだ。

大阪府池田市

教育日本一のまち池田条例に基づき「学びの連続性」重視の小中一貫教育、教員研修推進事業、オンライン学習導入、全校常設の教育支援センターと公設民営のフリースクールによる不登校支援等を学んだ。



総務常任委員会

■ 10月28日(火)～30日(木)



兵庫県姫路市

学んできたこと

- 姫路ライフ・デジタル戦略、官民データ活用推進計画
- たつの市公共建築物再編実施計画
- 高砂市における公共施設適正管理

常任委員会の活動



ここに注目！

兵庫県姫路市

人口減少が進んでも誰もが自分の暮らしに満足できるデジタル社会の実現に向けた、戦略的な取り組みについて学んだ。デジタルに慣れている世代、不慣れな世代それぞれに応じた施策展開は、今後の調査研究の参考にしたい。

兵庫県たつの市

公共施設再編の個別計画として公共建築物再編実施計画を策定し、取り扱い方針を明確化して着実に施設総量の縮減を進めていた。民間ノウハウの活用や丁寧に住民説明を行う姿勢が、再編を進める大きな要因であると学んだ。

兵庫県高砂市

公共施設の適正管理において、将来の人口推計・財政状況と連動した施設総量の縮減目標を定めているほか、個別の施設カルテを公開・活用して再編を進めていることに大いに感銘を受けた。政策提言に生かしていく。

産業建設常任委員会

■ 11月5日(水)～7日(金)



富山県高岡市

学んできたこと

- 官民連携まちなか再生
- 商店街元気ハツラツ市事業
- D I Y型空き家リノベーション
- まち全体リノベーション

常任委員会の活動



ここに注目！

埼玉県朝霞市

中心市街地活性化基本計画の策定、「ウォークブル推進都市」賛同などの経過を経て、官民が連携した事業展開である。将来像を市民とともに描くことの重要性を感じた。

岐阜県大垣市

民間と連携した運営により、マンネリ化したイベントを見直す中で、イベントのエリアを拡大し分散回遊型とした。若年層の割合増加を目指す点も参考になった。

岐阜県各務原市

シティプロモーション「選ばれるまち」のため、D I Y型リノベーション事業が産官学金連携の下で行われている。

富山県高岡市

旧商業施設を活用した支援拠点「御旅屋セリオ」を開設。セリオ前でのマーケット開催や、空き店舗を活用した開業支援、人材交流などランドマーク的な存在であり、参考にしたい。



予算決算常任委員会

■ 11月13日(木)～14日(金)



東京都多摩市

学んできたこと

- 予算決算常任委員会の運営
- 予算・決算審査の連動

常任委員会の活動



ここに注目！

埼玉県北本市

議会改革特別委員会を設置し、早期に改善する必要があるとして予算決算常任委員会設置を優先審議し、設置に至った。地方自治法の議案一体（不可分）の原則と分割付託での二律背反性が解消し、常任委員会間で賛否の結果が異なる修正案に齟齬を来すリスクの軽減を図った。会期日程を従前より延長して、審議を深めている。

東京都多摩市

予算・決算の連動について、決算審査で議会の評価を行い、その結果を市長に示すことが議会基本条例に明記されている。事業カルテは、全事業において作成し、予算執行方法や事業成果が記載されている。評価対象事業は、市民にとって望ましい重要な事業や関心の高い事業を選定する。議会が評価を行った後、予算決算特別委員会の分科会で改めて質疑時間を設けて、当局と議論を重ねている。

■意見書1件を可決しました

12月22日の本会議で、委員会発案で提出された「新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に向けた取組を求める意見書」を全会一致で可決しました。

要望書
(PDF)



■会議録の閲覧・検索ができます

柏崎市議会会議録検索システムで、会議録を検索・閲覧することができます。

- 本会議
平成5（1993）年6月定例会以降
- 委員会
平成13（2001）年以降
- 議会全員協議会
平成8（1996）年以降

議会会議録



■ウェブサイト・無料アプリで「ギカイのとびら」を読むことができます

パソコン・スマートフォン・タブレットで、手軽に閲覧できます。

ウェブサイト・
無料アプリ



■点訳・音訳の「ギカイのとびら」を配布しています

お申し込みは福祉課へ。

TEL 0257-21-2299

FAX 0257-21-1315

点訳・音訳





一般質問とは

皆さんの暮らしに関わる大切なことについて、議員が市に対して質問する場です。
あなたはどんなことに興味がありますか？

質問項目



動画でチェック

医療



近藤 由香里

Q 災害医療体制の維持・強化に向けた今後の対応は

A 柏崎総合医療センターと連携し、国県に実状を伝え、必要な支援を求めていく

質問 頻発する自然災害や柏崎刈羽原子力発電所の再稼働を見据え、災害医療体制の維持・強化に向けてどう取り組むか。

回答 柏崎総合医療センターでは災害医療体制の構築に取り組んでいるが、必要な設備の更新や人材確保、災害時の受入れ患者数には課題がある。国県に地域の実状や課題を伝え、必要な支援を求めていく。

他の質問 食物アレルギー対応から見る「子どもを取り巻く環境の充実」 ほか



動画でチェック

部活動地域展開



佐藤 和典

Q 部活動地域展開の学校連携と指導者確保の取り組みは

A 対話を重視し、多様な役割提示による人材確保、教員等への呼びかけも継続

質問 中学校部活動の地域展開を着実に進めるための学校との連携体制強化、民間指導者の確保、教員等の参画促進策を伺う。

回答 学校が保護者や連盟等と対話し丁寧に説明する重要性を、校長会等で指導する。指導者確保は技術指導以外の見守りや会計等の役割を示し人材確保に努め、教員等には応援でも子どもの励みになると呼びかける。

他の質問 エネルギー安全保障と立地自治体の責務



動画でチェック

小・中学校の不登校



春川 敏浩

Q 小・中学校の不登校対策は

A 「新たな不登校を生まない」を目標に児童・生徒のアセスメントを適切に行う

質問 小・中学校における不登校の具体的な対策を伺う。

回答 初期では、教職員、スクールカウンセラー等との教育相談を行い、長期欠席が続く場合は、定期的な家庭訪問、学習保障など、個に応じた対応を行っている。新たな不登校を生まないため「対応カルテ」を開発し、今年度試行、来年度から導入予定である。

他の質問 荒浜小学校グラウンド整備に伴う児童の活動環境の確保 ほか



動画でチェック

温暖化対策



Q ゼロカーボン実現へ市民をどう脱炭素行動へ導くのか

A 啓発活動と補助制度の活用で市民の脱炭素行動と意識の向上を着実に推進する

質問 ゼロカーボンシティ推進戦略開始から1年8か月が経過、直近実績と今後10年で脱炭素・省エネ行動へ導く市の方針を伺う。

回答 2030年度に2013年度比温室効果ガス46%削減が目標。2022年度実績は33.5%削減で全国・県内平均を上回った。今後は啓発活動の強化と省エネ・創エネ補助制度の活用により、市民の脱炭素行動と意識向上を図る。

他の質問 GIGAスクール構想の次なるステージに向けて



動画でチェック

水産資源の保護



Q 柏崎市さけ・ます増殖事業協会の現状と今後の方向性は

A さけの捕獲尾数は減少、県知事へさけ資源減少対策を村上市と連名で要望する

質問 さけのふ化放流事業を担っている柏崎市さけ・ます増殖事業協会の現状と今後の対策を含めた方向性を伺う。

回答 さけ不漁は地球温暖化による環境問題等が原因で、市内での取り組みに限界がある。県知事へ、さけ資源減少対策を村上市と連名で要望する。就業者の高齢化や施設の老朽化問題を含めて方向性を検討する。

他の質問 市内小・中学校統合における歴史と伝統の継承 ほか



動画でチェック

循環型社会



Q 排ガス検査状況と町内会における違反ごみの対応は

A 水銀の基準値超えなし、違反ごみはクリーンセンターで無料受け入れや相談実施

質問 クリーンセンターの排ガス検査結果、ごみ搬入量、市民意識、町内会の違反ごみの現状を伺う。

回答 排ガス検査で水銀の基準値超えはない。ごみ搬入量は減少傾向にあり、リサイクルセンター利用者は26万2千人で市民意識は高い。町内会の違反ごみは、クリーンセンターで無料受け入れや相談を実施している。

他の質問 手話言語の理解促進を図るために



動画でチェック

学区再編



Q 学校統合後の地区への対応方針は

A 全庁的に取り組むべき課題であり、地区の方々と対話しながら進めていく

質問 「学校の統合は地区再生の始まりである」という考えは第六次総合計画前期基本計画の重点戦略の捉えと同じか。また、学校統合後の地区への対応の方針を伺う。

回答 重点戦略の一つ「未来につなぐ安心と暮らしやすさの追求」と同じ方向と考える。全庁的に取り組み、実情に応じて地区の方々と対話しながら進めていく。

他の質問 教職員の働き方の方向性



動画でチェック

環境リサイクル



佐藤正典

Q リチウムイオン電池の火災事故防止対策は

A 事故防止と資源循環の両輪で安全安心な生活環境確保を目指す

質問 リチウムイオン電池の課題である火災事故防止対策および資源リサイクル推進への考え方を伺う。

回答 ごみ処理対策を確実に実施する。新ごみ処理場では監視カメラ、火災検知器等多数設置し火災事故リスクの低減に努める。誤った処分方法による発火危険性と適正なリサイクルルートの積極的な広報を展開する。

他の質問 柏崎市職員に対するカスタマーハラスメントの現状と対策強化 ほか



動画でチェック

住宅の耐震化



五位野和夫

Q 住宅の耐震改修促進のために自己負担の軽減を求める

A 幅広い住宅耐震化促進策があるため、さらなる自己負担軽減策は考えていない

質問 令和3～6年度の住宅耐震改修実績は年間0～1件。住宅耐震改修の促進には思い切った自己負担の軽減が必要と考える。

回答 耐震改修補助上限額を140万円に増額。また、耐震住宅への建て替えなどを促すため、既存住宅取り壊しの補助制度を創設し、幅広い支援に取り組んでいることから、自己負担軽減策は現時点で考えていない。

他の質問 野生鳥獣被害対策



動画でチェック

原発



星野幸彦

Q 東京電力の度重なる不祥事に対する見解は

A いかなる理由であれ規則を逸脱した行為は断じて許されるものではない

質問 保安規定逸脱など不祥事が続いている。特にテロ対策関連機密文書の不正管理事案を含め、度重なる不祥事の見解を伺う。

回答 機密文書事案は規制庁・規制委員会で継続審査中であるが、いかなる理由であれ規則を逸脱した行為は断じて許されない。基本的業務を確実に遂行できる体制構築を強く求めていく。

他の質問 柏崎あい・あーるエナジー株式会社経営報告



動画でチェック

原発



持田繁義

Q 東京電力による1千億円の資金拠出をどう認識するか

A 暮らしの基盤整備の実現資金と理解し、透明性確保と情報公開の徹底を求める

質問 柏崎刈羽原発の安定した稼働を前提に地域貢献策で提示された1千億円。再稼働問題に揺れるタイミングで、東京電力からの1千億円の資金拠出をどう認識するか。

回答 地域経済の活性化や暮らしの基盤整備の実現に向けたものと理解している。今後も、県および東京電力に対して透明性の確保と情報公開の徹底を求める。

他の質問 林道等の維持管理、森林環境保全 ほか



動画でチェック

原子力政策



柄沢 均

Q 国の地元同意に関する評価を「全幅の信頼」とした背景

A 経済産業大臣から柏崎市長の考えを理解し、受け止めると明確な発言があった

質問 国から回答があった柏崎刈羽原発再稼働に関する地元同意の定義を「赤点以下」と厳しく評価していたが、「全幅の信頼を寄せる」と変化させた背景は何か。

回答 経済産業大臣との会談で、「柏崎市長が、柏崎刈羽原発の地元は立地自治体の柏崎市と刈羽村という考えであることを理解し、受け止める」との明確な発言があった。

他の質問 人口減少と少子高齢化との向き合い方



動画でチェック

綾子舞



星野正仁

Q 綾子舞・国重要無形民俗文化財指定50周年の取り組みは

A 50周年記念式典を含む公演を予定し、未来へ向けた保存伝承支援に取り組む

質問 綾子舞国の重要無形民俗文化財指定50周年を機に、指定当時の経緯を振り返り、記念事業の実施や次世代継承、デジタルアーカイブ化など取り組み方針を伺う。

回答 国指定50周年記念式典を含む公演を行う予定である。また、映像のデジタル化など演技の記録化を進め、次の50年、その先の未来へ向けた保存伝承支援に取り組む。

他の質問 市民の安全安心の生活を守る火災予防 ほか



動画でチェック

クマ被害対策



布施 学

Q クマ被害対応の「ガバメントハンター」導入の可能性は

A 先進事例を参考に慎重に検討を進める

質問 全国でクマ被害が拡大し、各自治体が駆除専門公務員「ガバメントハンター」導入を検討する中で、導入の可能性を伺う。

回答 鳥獣被害対策実施隊が駆除等を効率的に実施し、成果が上がっているため、体制維持が重要である。「ガバメントハンター」制度はクマ対策に有効な手段の1つだが、先進事例を参考に慎重に検討を進める。

他の質問 駅周辺にある飲食店の減少と活性化 ほか



動画でチェック

原発財源



真貝維義

Q 7号機の電源立地地域対策交付金の減額総額は

A 停止期間5年で6.4億円減額

質問 7号機は特定重大事故等対処施設（特重施設）未完成で再稼働せず、みなし稼働率の対象外である。特重施設完成までの電源立地地域対策交付金の減額総額を伺う。

回答 2026年度分から5年間で約6.4億円、26年度は約1.5億円減額を見込む。毎年度の予算規模を縮小せざるを得ず、理不尽であり、立地自治体の実情に即した対応を望む。

他の質問 自治体経営と公共施設マネジメント ほか



動画でチェック

政務活動を行いました

柏崎市議会の政務活動費は会派(通常は所属議員2人以上で結成)に対して交付されます。

令和7(2025)年度の政務活動費を使った主な活動



柏盛クラブ

■ 8月18日(月)～19日(火)



御殿場市役所

活動内容

- 「かまくらULTLAプログラムの取組」の調査
- 御殿場市エコガーデンシティ構想



柏盛クラブ

神奈川県鎌倉市

学校になじめない子どもの特性を科学的に把握し、その子の個性・特性に学校が合わせられる環境を整備していく。認知心理学等に基づくアセスメントを行っている。自分の取扱説明書を知ることができた、という子どもがいるように、自己理解の一助となっている。柏崎でも取り入れられることかもしれない。

静岡県御殿場市

一部地区で行われていた森林活用の成果を起点にしたエコガーデンシティ構想への展開、さらには、その成果を持って環境・経済・社会の3側面でのSDGs未来都市計画へと発展させた持続的な進め方は、人口減少下の柏崎にも有効なモデルである。海と刈羽三山などの既存資産を生かし、3側面の相乗効果を生むまちづくりの重要性を再認識した。

社会クラブ・柏崎の미래連合

■ 8月6日(水)



勉強会(ホテル会議室)

活動内容

- 高レベル放射性廃棄物の最終処分
- 原子力発電環境整備機構の役割
- 日本での最終処分地選定の現状
- 最終処分地域自治体の受け止め



社会・미래連合

高レベル放射性廃棄物の最終処分の現状

原子力発電環境整備機構(NUMO)は、「特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律」に基づき、2000年に経済産業大臣の認可を受けて設立した。電気事業者等が人材、資金を供出し、原子力発電所から出される高レベル放射性廃棄物の処分地選定、調査、処分施設の建設・創業・閉鎖を担う法人である。現在、最終処分地に手を挙げた、北海道寿都町と神恵内村の現況として、原子力発電所から出される高レベル廃棄物を長期間地層処分する事に適した場所であるか文献調査を行っている。調査結果は、道内の自治体へ広く説明に出向き、出された意見などは、全てホームページにて公表している。原子力発電所が立地する自治体議員として、こうした高レベル放射性廃棄物を長期間にわたり、安全に保管をすることができるのか、引き続き、世界の動向と併せて、注視する必要性を感じた視察となった。



公明党

■ 10月21日(火)～22日(水)



札幌市民防災センター

活動内容

- 泊原子力発電所視察、余市町議会意見交換（北海道泊村、余市町）
- 札幌市民防災センター見学（北海道札幌市）

公明党



泊原発再稼働を巡る現状と安全対策、避難計画、地元同意

泊原発は2027年のできるだけ早い時期に、3号機の再稼働を目指し、新規制基準に沿った津波・地震・防火対策などさまざまな安全対策工事のほか、重大事故対策として電源確保対策や代替格納容器スプレイポンプ・水素爆発防止対策などを行っている。真冬の事故や、シビアアクシデントに備えた専門の部署を創設し、常時訓練を行っている。

UPZである余市町では、再稼働に向けた避難計画や行政防災無線、国・道・事業者との連携について意見交換した。

札幌市民防災センターの役割と市民の防災意識向上

当施設はさまざまな災害を疑似体験できる体験型学習施設として幅広く市民に活用されている。住民の防災意識の向上は行政課題の一つであり、多くの災害を経験している柏崎市でも、災害の体験学習や原子力防災学習ができる総合的な防災学習センターの機能は必要であると感じた。

日本共産党柏崎市議員団

■ 8月6日(水)～10日(日)



長崎市民会館体育館

活動内容

- 原水爆禁止2025年世界大会・長崎集会に参加

共産党



被爆者の思いを次世代に

被爆者代表のあいさつの後、エジプト大使、ベルギー労働党等の海外ゲストの発言が続き、核兵器禁止条約に日本が批准することの重要性を確認し、実現するために草の根の運動交流が行われた。

集会テーマは、「被爆者の思いを次世代に伝え、つなぐか」である。現在、被爆者の方々の平均年齢は86歳を超えている。それだけに、一緒に語り、交流し合う機会を増やすことが大切であり、喫緊の課題でもある。

分科会では「気候危機、エネルギーと原発」に出席したが、気候危機と平和の危機が同時進行している現在、課題は大きいけれども、気候危機は人間の努力によって止められる。戦争も核兵器も人間の努力によってなくすることができる。「起源がある」ことは変えられる。学びを深め、世論を大きく広げることの重要性を深く胸に刻む機会となった。

自治研究会

■ 8月8日(金)



活動内容

旭川市観光行政

- 旭川市観光振興条例の経緯と内容
- DMOと行政の関わり方
- 大雪山周辺の観光広域連携

自治研



旭川市の大雪山国立公園周辺との連携体制づくり

地域連携DMO「(一社) 大雪カムイミンタラDMO」は旭川市を含む1市8町により構成され、周辺の炭鉱衰退に伴い、大雪山を基軸に広域連携してきた経緯から平成29年に設立された。

旭川観光コンベンション協会は、市の職員と飲食店、宿泊・会場業者、出版印刷事業者など493社により構成され、さまざまなプロモーションを展開している。

近年は市直営動物園の「旭山動物園」や、大雪エリアのパウダースノーが海外にも波及し、海外客による売り上げが増加しているものの、需要の不安定さから地元客を大事にしたい傾向にある。

本州と距離がある立地でありながら、行政と民間事業者が手を組み、強い覚悟を持って取り組んでいることが確認できた。

明日への希望

■ 11月11日(火)～12日(水)



活動内容

静岡県沼津市

- リノベーションまちづくり
- 静岡県三島市
- スマートウェルネスみしま

明日への希望



沼津市リノベーションまちづくり

沼津市では、人口減少や若年層流出を背景に、従来の行政主導・市民参加型から民間主導・公民連携型に転換し、リノベーションまちづくりを進めている。空き物件活用を目的化せず、その先のまちの価値向上・コミュニティ再生を見据えて庁内横断的に取り組み、人材発掘・育成にも注力している。金融機関との連携で補助金に頼らない自立的運営を促し、連鎖的な効果を生んでいる点も特徴的である。柏崎市でも民間力を生かす仕組みづくりに生かしたい。

三島市スマートウェルネスみしま (健幸まちづくり)

三島市では「健幸都市」の実現を軸に、市民と行政の協働で、都市整備と健康施策を結びつけたまちづくりを進めている。徹底した環境美化と、各年代に向けて工夫を凝らした健康づくりは、住みやすく訪れたいまちの形成につながっており、柏崎市のまちづくりの参考にしたいと感じた。

ギカイのうごき

CHECK!

1

議員研修会

～政治分野におけるハラスメント防止をテーマに
議員研修会を開催しました～

12月22日（月）に近藤千鶴弁護士を講師にお招きし、『政治分野におけるハラスメント防止「基本のき」』をテーマに、議員研修会を開催しました。

政治分野のハラスメント裁判例を交えていただきながら、ハラスメントについて学びました。



CHECK!

2

総務常任委員会が政策提言を取りまとめる

～本会議で報告し、市長に提言しました～

総務常任委員会が「公共施設の適正管理」をテーマに取り組んだ調査・研究を政策提言書にまとめました。12月定例会議最終日の本会議で報告し、その後市長に提言書を手渡しました。

左から春川委員、佐藤副議長、阿部議長、櫻井市長、近藤委員長、
星野副委員長、真貝委員、五位野委員、上森委員、布施委員

調査・研究



CHECK!

3

柏崎刈羽原子力発電所に関する調査特別委員会

～柏崎刈羽原子力発電所6号機を視察～

1月16日に市長と柏崎刈羽原子力発電所に関する調査特別委員会が合同で柏崎刈羽原子力発電所6号機を視察しました。

特別委員会の
活動



原子力発電所に関する議事録を公開

原子力発電所に関する議事録



柏崎市議会では、昭和44（1969）年3月10日に「柏崎刈羽原子力発電所」の誘致を決議しました。
柏崎市議会における議論の経過は重要なものであるため、昨年1月から柏崎刈羽原子力発電所誘致に関して議論を開始した当初からの会議資料をアーカイブ化するための作業に取り組み、議事録をデジタル化してホームページに公開しました。また、柏崎市議会の場において、原子力発電所誘致に関する議論が開始される前の逸話を、参考となる文献等から抜粋して紹介しています。
今後も、柏崎刈羽原子力発電所に関する議事録について、デジタル化し、順次更新します。

議事録

●議事録一覧

日 時	議 事 録 名
昭和42(1967)年3月4日	市長施政方針演説 (PDF ファイル:511.2KB)
昭和42(1967)年3月9日	一般質問（田辺栄作） (PDF ファイル:192.6KB)
昭和42(1967)年6月19日	一般質問（与口登美夫） (PDF ファイル:203.3KB)
昭和42(1967)年11月11日	総務常任委員協議会 (PDF ファイル:70.6KB)
昭和43(1968)年3月5日	市長施政方針演説 (PDF ファイル:191.8KB)
昭和43(1968)年3月8日	一般質問（与口登美夫） (PDF ファイル:154.4KB)
昭和43(1968)年3月22日	議会運営委員会 (PDF ファイル:176.5KB)
昭和43(1968)年5月28日	議会運営委員会 (PDF ファイル:126.8KB)
昭和43(1968)年10月3日	一般質問（与口登美夫） (PDF ファイル:201.3KB)
昭和43(1968)年10月4日	一般質問（田辺栄作） (PDF ファイル:200KB)
昭和43(1968)年10月7日	公企業商工常任委員会 (PDF ファイル:113.8KB)
昭和43(1968)年12月12日	一般質問（西沢亮衛） (PDF ファイル:190.5KB)
昭和43(1968)年12月23日	議会全員協議会 (PDF ファイル:183.3KB)
昭和44(1969)年3月6日	市長施政方針演説 (PDF ファイル:205.2KB)
昭和44(1969)年3月8日	一般質問（武田英三） (PDF ファイル:120KB) 一般質問（金子孝男） (PDF ファイル:209.9KB) 一般質問（田辺栄作） (PDF ファイル:232.3KB)
昭和44(1969)年3月10日	原子力発電所の誘致実現に関する決議 (PDF ファイル:402KB) 【参考】昭和44(1969)年3月10日・11日・14日 発行柏崎日報 (PDF ファイル:2.9MB)

2月

定例会議の予定



変更の場合はホームページでお知らせします。本会議は午前10時に開会します。

日	月	火	水	木	金	土
15	16 本会議 議案説明・質疑・付託	17 委員会・分科会 産業建設・文教厚生	18 委員会・分科会 総務	19 委員会 予算決算	20 本会議 委員長報告・採決 施政方針、議案説明	21
22 (天皇誕生日)	23	24	25	26	27 本会議 代表質問 質疑・付託	28
3/1	2 委員会・分科会 (議案補足説明) 委員協議会・作業部会 (論点整理)	3 委員会 予算決算	4 本会議 一般質問	5 本会議 一般質問	6	7
8	9 本会議 (一般質問・予備日)	10 委員会・分科会 産業建設	11 委員会・分科会 文教厚生	12 委員会・分科会 総務	13 委員会・分科会 産業建設	14
15	16 委員会・分科会 文教厚生	17 委員会・分科会 総務	18 委員会 (予備日)	19 委員会 予算決算	20 (春分の日)	21
22	23 本会議 委員長報告・採決					



本会議・委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。
インターネット中継でもご覧いただけます。
録画映像と会議録も公開しています。



議会日程

中継・傍聴・
会議録

■リンク先をデザインで区別しています

柏崎市HP

外部サイト



編集後記

昨年は憲政史上初の女性総理が誕生し、総理の決意表明「働いて、働いて、働いて…」が2025新語・流行語大賞を受賞しました。今年は午（馬）年で、午（馬）は成長や発展の象徴とされる動物です。昨年開催した市内2大学の学生との意見交換会では、柏崎の人は優

しく、山や海があり景色もきれいで、食べ物が安くておいしいという意見がありました。柏崎が若者に望まれるよう、成長、発展するきっかけの年になることを期待しています。

議会広報広聴常任委員
山本 博文

次回発行は5月5日
お楽しみに

柏崎市議会

Q 検索

議会広報広聴常任委員会

委員長 田邊優香
副委員長 山崎智仁
委員
池野里美 近藤由香里 山本博文
西川弘美 持田繁義 重野正毅
三宮直人 相澤宗一 春川敏浩